

〈上弦の月〉

昼過ぎ、畑に行ったら昼の月が出ていた。上弦の月だった。写真を撮ったのは午後2時半ごろでこの頃はまだ弦は斜め下を向いている。青い空に浮かぶ白い月はとても控えめで、静かに静かに息を殺して日が沈むのを待っているかのようだ。暗闇に煌々と光る月も好きだが、こんな風に目立たぬようにひっそりとそこに“いる”昼の月も好きだ。やがて主役が舞台から退くと夜の主役として輝きを増してくる。今夜は近くに火星のお供を連れての運行だ。写真には撮れなかったが赤く輝く星が肉眼でもはっきりと見えた。6時半に撮った時にはすでに弦は垂直から少し傾きかけていた。ほぼ真上にあつたのでカメラを向け続けると首が痛くなる。7時からオンライン会議だったのでしばらく外には出られず！



次に見たのは9時半過ぎ、すでに弦は上を向き始めている。少し前、2年生の孫が“上弦”などという言葉が発していたので、「この歳で上弦の月を知っているとは！」と驚いたが、どうやら鬼滅の刃

に出てくる鬼のグループのことだった。写真を撮った後風呂に入ったら、なんと西側の窓から月が見えた。水滴がついた窓から見える月は弦も孤もはっきりせず、涙目で見えるような月だった。なんだかずっとずっと遠い昔こんなぼやけた月を見たような……。今、時計の針は11時過ぎ、恐らく弦は真横になって沈み始めているかもしれない。寒いのもう外には出ないけど、お陰で今日一日いろんな時間の月を見ることができた。

♪浴衣の君は……上限の月だったっけ 久しぶりだね～ 月見るなんて♪ 吉田拓郎